

町政への参画及び町民の意見等を聴取する制度（事業）について

分類			制度名 (事業名)	担当課	町民		町		まちづくり 推進会議
発信	目的	人数			利点	妨げる要因	実績	課題	経過
町→町民	計画・ 条例など	多	パブリック コメント	協働文化 推進課 ・ 実施課	<ul style="list-style-type: none"> 政策の策定過程やその根拠を知ることができる 日頃、町と関わりがない方でも意見を表明できる 意見を表明し町の反応を得られる 	<ul style="list-style-type: none"> 難しい計画を読み込む必要がある 時間の制約 意見が反映されづらい 	H22～R1について（56案件） <ul style="list-style-type: none"> 意見数0の割合は約2割 意見者数3人以下の割合は約7割 意見をもたらした計画について意見反映数0の割合は約7割 	<ul style="list-style-type: none"> 意見者数の少なさ →町民からの有益な情報や意見を考慮した意思決定ができない。また、同意をいただいているのか、読まれていないのかが測定できていない。 意見反映数の少なさ →町政への興味が薄れてしまう可能性がある 時期が重なりやすく、意見を出す意欲を削いでしまう可能性がある 認知度45.6%（H27調査） →町民からの有益な情報や意見を考慮した意思決定ができない。 	第1期 第3期 第6期 に提案
			住民 説明会 (ワーク ショップ含む)	実施課	<ul style="list-style-type: none"> 町と顔をあわせ、双方向のコミュニケーションを通じて相互理解を深めることができる 職員からの説明 正しい情報の取得（噂や間違った情報を正せる） 意見や心配を直接伝えられる 他町民の考えもわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 時間と場所の制約 内容が難しい 短時間での計画の理解 	H26 該当なし H27 2案件 6回開催 82人 H28 1案件 2回開催 35人 H29 1案件 4回開催 115人 H30 該当なし R1 3案件 25回開催 299人	<ul style="list-style-type: none"> 実施のタイミングによって、町の開催趣旨と町民の意識とに差が生じてしまう可能性がある。 	—
		少	審議会等の 委員の公募	協働文化 推進課 ・ 実施課	<ul style="list-style-type: none"> 計画や町政に早い段階から参画できる 	<ul style="list-style-type: none"> 町政の参画に興味が無い 意見が反映されない 周知時に内容説明が不十分 内容が難しい (H26公募委員に関するアンケートより抜粋) 時間と場所の制約（定期的） 	<ul style="list-style-type: none"> 27機関/45機関 32人/45枠 (R1年度) 	<ul style="list-style-type: none"> 認知度 33.8%（H27調査） →町民の意見を計画に反映することができない。 集まる審議会と集まらない審議会の差があり、集まらない審議会は何度も募集をかけている。（事務量増） 意見が出づらい、反映されないなどにより、町政への興味が薄れてしまう可能性がある 	第3期 に提案
	調査	多	eマーケティング リサーチ制度	広報 戦略課	<ul style="list-style-type: none"> 町政に参加しやすい（ネットから空いている時間に意見を伝えられる） 謝礼がもらえる（商品券） 町のことを知れる 積極的に意見を伝えられる 他町民の考えも知れる <p>(H29 eマーケティングリサーチ制度に参加した感想に関するアンケート 問15「当制度は町政へ手軽に気軽に参加できる制度だと思いますか」より抜粋)</p> <p>(H29 eマーケティングリサーチ制度に関するアンケートより抜粋)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 問が多く途中でやめなくなる 意見が反映されているかわからない <p>(H29 eマーケティングリサーチ制度に参加した感想に関するアンケート 問15「当制度は町政へ手軽に気軽に参加できる制度だと思いますか」より抜粋)</p>	登録者数289名（R2.12.7現在） H29 6回 平均回答率69.4% 最高 84.6%（当制度の感想） 最低 59.6%（当制度の感想） H30 5回 平均回答率69.3% 最高77.9%（町ブランド） 最低62.0%（住民票の交付等） R1 5回 平均回答率70.5% 最高73.3%（自殺） 最低66.7%（町の美化）	<ul style="list-style-type: none"> より精度の高い結果を得るために、eモニターの確保が必要となる。 町民ニーズを町政運営に活用するため、庁内における積極的な制度活用を拡充する必要がある。 	—
			少	定量調査 定性調査	実施課	<ul style="list-style-type: none"> 幅広く意見を伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間の制約 	<ul style="list-style-type: none"> 調査に応じて実施 	<ul style="list-style-type: none"> 郵送コストとアンケートの回収率
	意見交換 課題共有 ・解決	多	まちづくり 懇談会	協働文化 推進課	<ul style="list-style-type: none"> 町長と直接話せる、課題を伝えられる。 地域の課題がわかる 地域の課題を共有できる 他町民の考えも知れる 町長の考えも知れる (第19回～23回のアンケートより抜粋) 	<ul style="list-style-type: none"> 時間と場所の制約 関心のないテーマ 参加者の年代の偏り 特定の方へ意見が偏る 個人的な意見 明確な答えがもらえない (第19回～23回のアンケートより抜粋) 	H27 第19回（2部構成） 21人 H28 第20回（2部構成） 41人 H29 第21回（3部構成） 51人 H30 第22回（3部構成） 42人 R1 第23回（2部構成） 27人	<ul style="list-style-type: none"> 若者世代の参加が少なく、新たな協働の担い手が発掘できていない。 参加、参画だけではなく、協働の掘り起こしという要素に至っていない。 司会進行が町職員であることから、個人的な意見だとしても無視することはできない。 	—

町←町民	提案	多	わたしの提案制度 (町長への手紙)	町民 窓口課	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に町政に参加できる (ネット、郵送、FAXなど) ・町から回答をもらえる 	<ul style="list-style-type: none"> ・住所未記入、匿名の場合は、回答をもらえない。 ・建設的な提案をするのが難しい。 	<p>H29 98件 H30 64件 R1 95件</p> <p>【種別】意見33%、要望32%、提案18%、苦情7%、相談0%、その他11%</p> <p>【分野】教育文化16%、町政14%、交通14%、保険医療13%、環境11%、防災防犯7%、福祉2%、産業2%、消費生活0%、その他23%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・建設的な提案より意見、要望が多い。 ・匿名のため回答できないことがある。連絡すると、回答はもらえないと言われたことがある。 ・時期により提案が集中して提出されるため、回答に時間を要することがある。 ・提案者の30%以上が60歳代以上で占められているため、若年層への制度周知。 	—
	要望	多	要望書	町民 窓口課	<ul style="list-style-type: none"> ・同上 ・要望書を提出することで、住民サービスの向上、事業の改善を図ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何を要望するか明確に記さないと望んでいる回答をもらえない。 	<p>H29 32件 H30 32件 R1 23件</p> <p>内容は、教育、福祉、人権、町政に関する要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各課の回答を取りまとめるため、処理するのに1か月くらいかかる。回答を早く欲しいと言われることがある。 	—